



平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月4日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
 コード番号 2370 URL http://www.medinet-inc.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績（平成27年10月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|--------|---|--------|---|----------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年9月期第3四半期 | 1,404 | 12.0 | △1,135 | — | △1,269 | — | △1,086 | — |
| 27年9月期第3四半期 | 1,253 | △11.6 | △1,192 | — | △967 | — | △1,106 | — |

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 △1,113百万円 (—%) 27年9月期第3四半期 △1,084百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年9月期第3四半期 | △11.97 | — |
| 27年9月期第3四半期 | △12.52 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年9月期第3四半期 | 8,172 | 6,499 | 79.0 |
| 27年9月期 | 8,897 | 7,173 | 80.3 |

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 6,454百万円 27年9月期 7,142百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 28年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年9月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年9月期の連結業績予想（平成27年10月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|--------|---|--------|---|---------------------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,184 | 30.5 | △2,355 | — | △2,335 | — | △2,345 | — | △25.70 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年9月期3Q | 92,678,009株 | 27年9月期 | 90,133,100株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年9月期3Q | －株 | 27年9月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年9月期3Q | 90,752,117株 | 27年9月期3Q | 88,379,986株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・決算補足説明資料は、本日平成28年8月4日(木)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成27年10月1日から平成28年6月30日まで）の当社グループは、前連結会計年度より引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による規制環境の下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めております。当第3四半期連結累計期間における主な事業の成果は以下のとおりであります。

- ・平成27年10月 再生・細胞医療の産業化に不可欠な細胞加工技術者を派遣するビジネスを開始いたしました。
- ・平成27年11月 前連結会計年度に締結したライセンス契約に基づき、当社の新規モノクローナル抗体（抗ヒトBTN3抗体（CD277））を用いた製品開発を目指しておりました、米国ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー（以下「BD社」）が、新商品開発に向けた検証を終え、商品化を決定し、全世界で販売することになりました。
- ・平成27年12月 当社が出資し、ヨーロッパ諸国での細胞医療製品の開発・販売を目的に設立した英国TC BioPharm Ltd. は、当社が導出した細胞加工技術・ノウハウや蓄積した臨床実績をもとに、英国での細胞医療製品「ImmuniCell®」の治験を開始いたしました。
- ・平成28年2月 医療法人社団 葵会 AOI国際病院と特定細胞加工物製造委受託契約を締結いたしました。
- ・平成28年2月 国立研究開発法人成育医療センターと製造品質体制に対する教育業務委託契約を締結いたしました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の売上高については、免疫細胞療法総合支援サービス売上の増加、細胞医療用機器・資材売上の増加に加えて、前述の人材派遣売上、これまで獲得した知財を活用したライセンス収入等もあり、売上高は1,404,001千円（前年同期比150,665千円増、12.0%増）となりました。研究開発活動については、引き続き、研究開発投資の収益獲得に向けた再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったことにより、研究開発費は313,011千円（前年同期比92,669千円減、22.8%減）となりました。販売活動については、新たな事業展開に向けた取引先の開拓等の取り組みの強化を図ったことにより、販売費は321,226千円（前年同期比77,508千円増、31.8%増）となりました。また、前連結会計年度を通して行っている新たな事業環境における細胞加工業及び細胞医療製品事業の推進・展開を図るための人員の拡充により、人件費が増加したこと等から、一般管理費は1,117,481千円（前年同期比57,543千円増、5.4%増）となりました。その結果、販売費及び一般管理費は1,751,719千円（前年同期比42,382千円増、2.5%増）となり、営業損失は1,135,734千円（前年同期は営業損失1,192,866千円）となりました。

その他、受取利息31,335千円（前年同期は36,780千円）、投資事業組合運用損11,675千円（前年同期は投資事業組合運用益42,272千円）、外貨建ての長期貸付金の円換算等による為替差損146,113千円（前年同期は為替差益148,000千円）等の営業外損益により、経常損失は1,269,861千円（前年同期は経常損失967,791千円）となりました。また、投資有価証券売却益198,634千円の特別利益があった一方で、投資有価証券評価損3,733千円、関係会社清算損3,318千円等の特別損失の計上及び法人税等5,741千円により、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,086,095千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,106,500千円）となりました。

報告セグメント別の業績の概況は、以下のとおりであります。

①細胞加工業

細胞加工業については、企業、大学、研究機関等からの臨床用、治験用の細胞加工受託を事業化するため、受注活動を積極的に進めておりますが、まだ売上を計上するまでには至っていないことから、医療機関に対する免疫細胞療法総合支援サービス売上が収益の柱となっております。当第3四半期連結累計期間は、免疫細胞療法総合支援サービス売上の増加、細胞医療用機器・資材売上の増加に加えて、人材派遣売上等もあり、売上高1,396,403千円（前年同期比146,251千円増、11.7%増）となりました。セグメント損失は、平成27年5月に品川細胞培養加工施設（品川CPF）の第1期工事が完成したことによる減価償却費等の諸経費の増加等により、282,135千円（前年同期はセグメント損失227,485千円）となりました。

②細胞医療製品事業

細胞医療製品事業については、当社グループで行っている研究開発の成果とともに、これまで継続的に行ってきた大学病院等との共同研究を通じて、細胞医療製品の可能性を探求しております。また、国内外で行われている細胞医療製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得を視野に入れた活動も行っております。細胞医療製品事業は、細胞医療製品の可能性を評価するための先進医療を実施している医療機関からの細胞培養加工の受託や当社グループがこれまで獲得した知財を活用したライセンス収入等による売上を計上しております。当第3四半期連結累計期間は、前連結会計年度から引き続き、研究開発投資の収益獲得に向けた再評価を行い、研究開発費の適正化を図ったことにより、売上高は7,598千円（前年同期比4,413千円増、138.6%増）、セグメント損失は359,424千円（前年同期はセグメント損失411,179千円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて724,624千円減少し、8,172,757千円となりました。流動資産は4,521,418千円と前連結会計年度末に比べ148,866千円減少しており、主な要因は現金及び預金の減少216,900千円、有価証券の増加200,000千円及び流動資産その他に含まれる未収消費税等125,097千円の減少です。固定資産は3,651,338千円と前連結会計年度末に比べ575,758千円減少しており、主な要因は有形固定資産の減少173,884千円、投資有価証券の減少154,440千円、長期貸付金の減少135,372千円及び長期前払費用の減少68,938千円によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて50,541千円減少し、1,673,548千円となりました。そのうち流動負債は1,199,793千円で前連結会計年度末に比べて56,734千円減少しております。主な要因は賞与引当金の減少45,396千円です。固定負債は、前連結会計年度末に比べて6,192千円増加し473,755千円となりました。主な要因は転換社債型新株予約権付社債の増加75,000千円、長期リース債務の減少26,925千円、長期繰延税金負債の減少35,768千円です。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失1,086,095千円、資本金の増加212,500千円、資本剰余金の増加212,500千円により前連結会計年度末に比べて674,083千円減少し、6,499,208千円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の80.3%から79.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は平成27年11月13日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想をセグメント別に表すと以下のとおりであります。

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 連結予想額 (注) 2 |
|-----------------------|---------|----------|--------|--------------|----------------|
| | 細胞加工業 | 細胞医療製品事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,180 | 4 | 2,184 | — | 2,184 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,180 | 4 | 2,184 | — | 2,184 |
| セグメント損失 (△) | △115 | △1,540 | △1,655 | △700 | △2,355 |

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額△700百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年9月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,211,801 | 1,994,900 |
| 売掛金 | 302,540 | 345,650 |
| 有価証券 | 1,600,000 | 1,800,000 |
| 原材料及び貯蔵品 | 98,431 | 73,901 |
| その他 | 457,511 | 306,965 |
| 流動資産合計 | 4,670,284 | 4,521,418 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,367,363 | 1,243,785 |
| その他(純額) | 334,708 | 284,402 |
| 有形固定資産合計 | 1,702,072 | 1,528,188 |
| 無形固定資産 | | |
| | 320,542 | 279,655 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 592,451 | 438,010 |
| 長期貸付金 | 1,539,760 | 1,404,387 |
| 長期前払費用 | 493,926 | 424,988 |
| 貸倒引当金 | △580,000 | △580,000 |
| その他 | 158,344 | 156,108 |
| 投資その他の資産合計 | 2,204,482 | 1,843,495 |
| 固定資産合計 | 4,227,097 | 3,651,338 |
| 資産合計 | 8,897,381 | 8,172,757 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 109,361 | 109,564 |
| 短期借入金 | 800,000 | 800,000 |
| 未払法人税等 | 22,600 | 22,437 |
| 賞与引当金 | 85,875 | 40,478 |
| 資産除去債務 | 950 | — |
| その他 | 237,740 | 227,313 |
| 流動負債合計 | 1,256,527 | 1,199,793 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | — | 75,000 |
| 資産除去債務 | 212,514 | 209,646 |
| その他 | 255,048 | 189,108 |
| 固定負債合計 | 467,562 | 473,755 |
| 負債合計 | 1,724,090 | 1,673,548 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,566,093 | 6,778,593 |
| 資本剰余金 | 7,978,653 | 8,191,153 |
| 利益剰余金 | △7,511,382 | △8,597,478 |
| 株主資本合計 | 7,033,364 | 6,372,268 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 109,408 | 82,028 |
| その他の包括利益累計額合計 | 109,408 | 82,028 |
| 新株予約権 | 30,518 | 44,911 |
| 純資産合計 | 7,173,291 | 6,499,208 |
| 負債純資産合計 | 8,897,381 | 8,172,757 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 1,253,336 | 1,404,001 |
| 売上原価 | 736,866 | 788,016 |
| 売上総利益 | 516,470 | 615,985 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,709,337 | 1,751,719 |
| 営業損失(△) | △1,192,866 | △1,135,734 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 36,780 | 31,335 |
| 為替差益 | 148,000 | — |
| 投資事業組合運用益 | 42,272 | — |
| 設備賃貸料 | 7,040 | 5,656 |
| その他 | 3,757 | 3,206 |
| 営業外収益合計 | 237,851 | 40,198 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,391 | 9,249 |
| 為替差損 | — | 146,113 |
| 投資事業組合運用損 | — | 11,675 |
| 設備賃貸費用 | 4,872 | 4,872 |
| その他 | 1,512 | 2,414 |
| 営業外費用合計 | 12,775 | 174,325 |
| 経常損失(△) | △967,791 | △1,269,861 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 198,634 |
| 特別利益合計 | — | 198,634 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 30,195 | 481 |
| 減損損失 | — | 1,594 |
| 投資有価証券評価損 | 13,645 | 3,733 |
| 関係会社清算損 | — | 3,318 |
| 和解金 | 50,000 | — |
| 特別損失合計 | 93,840 | 9,127 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △1,061,632 | △1,080,353 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,982 | 8,350 |
| 法人税等調整額 | 36,886 | △2,609 |
| 法人税等合計 | 44,868 | 5,741 |
| 四半期純損失(△) | △1,106,500 | △1,086,095 |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △1,106,500 | △1,086,095 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純損失(△) | △1,106,500 | △1,086,095 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 22,287 | △27,380 |
| その他の包括利益合計 | 22,287 | △27,380 |
| 四半期包括利益 | △1,084,213 | △1,113,475 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,084,213 | △1,113,475 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

当社が平成25年12月に発行した第7回新株予約権は、平成27年6月にその一部について権利行使がなされました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が190,332千円、資本剰余金が190,332千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,566,093千円、資本剰余金が7,978,653千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

当社が平成27年10月に発行した第2回無担保転換社債型新株予約権付社債は、新株予約権の行使によりその一部が平成28年4月及び5月に株式へ転換されました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が212,500千円、資本剰余金が212,500千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が6,778,593千円、資本剰余金が8,191,153千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 細胞加工業 | 細胞医療製品 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,250,151 | 3,185 | 1,253,336 | — | 1,253,336 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,250,151 | 3,185 | 1,253,336 | — | 1,253,336 |
| セグメント損失(△) | △227,485 | △411,179 | △638,665 | △554,201 | △1,192,866 |

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△554,201千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 細胞加工業 | 細胞医療製品 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,396,403 | 7,598 | 1,404,001 | — | 1,404,001 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,396,403 | 7,598 | 1,404,001 | — | 1,404,001 |
| セグメント損失(△) | △282,135 | △359,424 | △641,560 | △494,173 | △1,135,734 |

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△494,173千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。